

平成19年度 次世代育成支援対策交付金事業の評価及び改善について

大館市次世代育成支援対策地域協議会では、平成20年6月26日に平成19年度事業実績について検討しました。評価及び改善については以下のとおりです。

事業名

- I 育児支援家庭訪問事業
- II 子育て短期支援事業
- III 延長保育促進事業
- IV 病児・病後児保育事業
- V へき地保育の推進

事業名	I 育児支援家庭訪問事業
事業内容	関係機関等からの情報収集等により把握した養育困難家庭で養育支援の必要性があると判断したのに対し、保健師等による具体的な育児支援に関する技術的援助を訪問により実施する事業
実施施設	保健センター
H19年度計画	訪問家庭 55か所 訪問件数 60件
H19年度実績	〃 58か所 〃 60件
H19評価	①事業量 前年度の実績に基づき計画したが、おおむね予定通り実施できている。
	②事業内容 ハイリスク妊婦や育児不安の強い親子、養育不安な家庭等の情報を収集し、早期に関わることで、虐待の予防や自信を持って育児に取り組めるような支援ができている。
	③連携・協力・協働 医療機関からハイリスク妊産婦等の情報提供を受け、訪問指導を実施している。また福祉、保健の関係者の連携による訪問指導の実施や定期的な検討会議の開催など非常によく機能している。
H19改善点等	良好に事業が実施されているので、今後も同様に継続してほしい。
H20年度計画	訪問家庭 70か所 訪問件数 75件

事業名	Ⅱ 子育て短期支援事業（トワイライトステイ）
事業内容	保護者が仕事その他の理由により平日の夜間又は休日に不在となり家庭において児童を養育することが困難となった場合その他の緊急の場合において、その児童を実施施設において保護し、生活指導、食事の提供等を行う事業
実施施設	白百合ホーム（母子生活支援施設）
H19年度計画	開所時間 夜間養護基本分 児童の下校等の時間～22時 休日預かり分 8時30分～22時 夜間養護基本分 2, 110人／年 休日預かり分 550人／年
H19年度実績	夜間養護基本分 1, 122人／年 休日預かり分 509人／年
H19評価	①事業量 平日分の利用延日数がかかなり減っている。18年度の自己負担分の引き上げにより、ひとり親世帯等の利用回数が減ったためと思われる。
	②事業内容 利用者からの苦情もなく、実施施設における事業内容は評価されている。また、利用料金についても少しでも利用者の負担を軽減するべく細かい設定をするなど、努力が見られる。
	③連携・協力・協働 事業の周知や情報提供について、実施施設や関係機関等との協力はできている。
H19改善点等	ホームページやパンフレットによる情報提供をしているが、今後利用が伸びると見込まれるその他一般世帯に対してのさらなる事業周知が必要と思われる。
H20年度計画	開所時間 夜間養護基本分 児童の下校等の時間～22時 休日預かり分 8時30分～22時 夜間養護基本分 1, 195人／年 休日預かり分 540人／年

事業名	Ⅲ 延長保育促進事業（延長保育事業及び延長保育推進事業（民間）分）
事業内容	就労形態の多様化等に伴う延長保育の需要に対応するため、保育所の開所時間を越えた保育を行う事業
実施施設	大館乳児保育園
H19年度計画	開所時間（延長分含む） 7時～19時 （うち延長開所時間 18時～19時（後1時間延長）） 平均対象児童数 8名
H19年度実績	平均対象児童数 9名（延利用児童数 1,863名）
H19評価	①事業量 概ね計画通りの実施ができています。延べ利用数は昨年よりも増加しました。
	②事業内容 実施施設において開所時間の後の延長を行うことにより、保護者の就労等に伴う延長保育の需要に対応することができています。事業についての苦情等もなく、順調に実施できたと思われる。
	③連携・協力・協働 実施施設と保護者の間で利用に関してよく話し合われており、状況も良好である。
H19改善点等	良好に事業が実施されていることから、今後も同様に継続して行ってほしい。
H20年度計画	開所時間（延長分含む） 7時～19時 （うち延長開所時間 18時～19時（後1時間延長）） 平均対象児童数 8名

事業名	Ⅳ 病児・病後児保育事業（病後児保育：施設型）
事業内容	現に保育所に通所中の児童等が病気の「回復期」であり、集団保育の困難な期間、当該児童を保育所、病院等に付設された専用スペースにおいて一時的に預かる事業
実施施設	大館乳児保育園病後児保育室
H19年度計画	開所時間 8時～18時 利用児童数 40人／年
H19年度実績	利用児童数 43人／年
H19評価	①事業量 概ね計画通りの実施ができています。
	②事業内容 病気回復期で集団保育が困難な期間、当該児童を預かることで、保護者の需要にこたえている。苦情等もなく、病後児保育が適切に実施された。
	③連携・協力・協働 地元医師会及び各医院の協力により、診断書の交付の際に待ち時間をなくするよう便宜を図るなど、保護者の精神的負担軽減につながるサービスがなされた。
H19改善点等	計画した事業量としては達しているが、利用状況を見ると利用者が固定の傾向にあるようだ。事業の認知度を高めるため、保育所や託児所経由でわかりやすいパンフレットを保護者の手元に届けるなど幅広く周知する方法が必要と思われる。
H20年度計画	開所時間 8時～18時 利用児童数 40人／年

事業名	V へき地保育の推進（へき地保育所）
事業内容	交通条件及び自然的、経済的、文化的諸条件に恵まれない山間地、開拓地、離島等のへき地における保育を要する児童に対し、必要な保護を行う事業
実施施設	へき地保育所
H19年度計画	施設（へき地保育所）数 10か所 （葛原、二井田、真中、下川沿、沼館、花岡、矢立、長木、雪沢、大葛） （うち交付金対象（平均利用児童数10人以上）施設 葛原除く9か所）
H19年度実績	平成20年3月31日現在 入所児童数 382名 （うち交付金対象施設 入所児童数 377名） 1日あたり平均利用児童数 282人 （うち交付金対象施設 平均利用児童数 278名）
H19評価	①事業量 3歳未満児の受入を積極的に行うことで、入所児童数が増えている。
	②事業内容 既存認可保育所から距離があり、通所等が不便・困難な地区で要保育児童の保育に対応できた。児童数も増えており、ニーズにあった事業展開がされていると思われる。
	③連携・協力・協働 児童の送迎や保育中の児童に関する連絡等、保護者の協力により概ね順調に対応できた。また、近隣住人の協力により施設内外の行事等を効果的に進めることができた。
H19改善点等	既存認可保育所等での対応が困難な地区を補完していることから、今後も引き続き実施してほしい。また、保育時間の延長を検討するなど保育内容のさらなる充実を図ってほしい。
H20年度計画	施設（へき地保育所）数 9か所 （葛原、二井田、真中、下川沿、沼館、花岡、矢立、長木、雪沢） （うち交付金対象（平均利用児童数10人以上）施設 葛原除く8か所）